

平成 29 年 5 月 31 日（水）に開催した平成 29 年度第 1 回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

1 協議事項

(1) 平成 28 事業年度実績（案）について

ア 趣旨

平成 28 事業年度に係る業務の実績に関する報告書に基づいて、教育研究活動、学生支援、研究並びに地域貢献等の各事業の主要な計画に対しての実績について説明。

イ 主な意見

- ・全体的に計画を十分に実施した項目が多く、非常に頑張ってやっている。
- ・留学生の県営住宅への入居対応や奨学金制度等、留学支援について積極的に行われている。ハラスメントについては、どこにでも起こりうる問題であり、アカデミックハラスメントが一番取り扱いが難しい。事前に対処するためのマニュアル化が必要である。

(2) 第 2 期中期計画の変更について

ア 趣旨

学部における観光に関する学科等及び匠関連領域の設置について、県に対し中期計画変更申請を行なう。

イ 主な意見

- ・大学 4 年で匠の技術を身につけるのは無理であるし、大工等の職人は、一生かけて技術を磨くものである。自らが匠になるのではなく、匠の研究を行うことだと思う。
- ・浜松はものづくりの街なので、本学に匠関連領域を設置することは意義あることである。

2 報告事項

(1) 平成 29 年度入学者選抜結果について

平成 29 年度入学者選抜結果について、志願者数が下がり年といわれていたが 1,861 名に留まった（前年度 1,949 名）。入学者のうち女子が 82% を占め昨年より 5 ポイント増えているため、男子の志願者を増やす対策が必要である。

(2) 平成 29 年度就職状況について

平成 28 年度卒業生（平成 29 年 3 月卒業）の就職率は昨年度と比べ 2 ポイント上がった。就職先について、文化政策学部は、教育や公務への就職率が増えている。デザイン学部は、デザイナーとして就職する学生が増えている。

以上により議事を終了した。